

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	いっしょに！東北
支援対象者・エリア	宮城県石巻市
企画開催地	石巻市小船越字山畑343-1
企画名称	百俵館川の上手づくりマーケット
実施期間	2019年10月20日（日）

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

被災地では、地域コミュニティが崩れ、住民たちも孤独に暮らしている例が多くみられます。そのような現状から地域の人たちが顔を合わせる機会を作り、イベントやものづくりを通して交流し、地域が元気になりコミュニティ形成にも役立つことを目的にこの活動を始めました。

宮城県石巻市の「百俵館川の上手づくりマーケット」において、出展者である住民と地域住民との交流ができるように来場者に地元で収穫した新米のご飯や地場野菜の手料理をふるまい、食べながら交流し、手づくりマーケットの出展者を講師に手づくり体験をして楽しい一日を過ごしてもらいました。また、今回は石巻市の日和幼稚園児が3月11日東日本大震災で犠牲になったお子さんのお母さまがお子さんの最期の場所に咲いていた花を増やし、種にして「防災は忘れないこと」をテーマに配布しているのを知り、被災地石巻でも花でいっぱいになればと種を皆さんにお渡しして植えてもらうことにしました。秋のイベントの多い中、晴天にも恵まれ、早くから広報等にも力を入れたおかげで、当日は朝から家族連れを含め200人を超える人が参加して、各講座も盛況のうちにモノづくりを楽しみました。おふる舞の食べ物は、地場のもので用意し、大変好評のうちに終了しました。すぐ近くの仮設住宅が閉鎖したためにお年寄りや昨年参加された方のお姿は、少なかったように感じました。このような地域の小さなお祭りで、孤立しがちな被災住民がイベントを通して、コミュニティ形成にも役立つということが実感もできました。

活動の様子（写真など）





育成・増殖についての注意点

「あいりちゃん」(フランスギク)はとても丈夫で育ちやすい花ですが、取り扱いをきちんとしないと増えすぎて問題になることがあります。そのため、下記のルールを守りましょう。

- 育てられる分よりも多くの花が咲いたら、結実させないよう、タネができる前に花を摘んでおく。
- 必要以上にタネがとれても、むやみに人へ提供したり、空き地や土手などにまいたりしない。
- 「あいりちゃん」の花は、震災の記憶を後世に伝承する目的で商標登録されています。従って、目的以外でのご利用(名前を利用した売買や、無責任な第三者へのご提供など)は法的に禁止されています。

真っ白な花を元気に咲かせてくれる「あいりちゃん」を可愛がってあげてくださいね。

「あいりちゃん」 育成方法

東日本大震災時、僅か6歳で帰らぬ人となってしまった佐藤愛梨ちゃん。数年後、彼女の最期の場所に、真っ白な花が咲きました。一輪だけ持ち帰ったその花は一度枯れかけますが、奇跡的に新しい芽を出していくつもの命を繋ぎ、いま、たくさんの場所で咲いています。

アイリンブループロジェクト実行委員会(代表 菅原淳一)

公式HP <http://airinblue-project.jp>

公式HP/Mail airinblue2016@gmail.com

住所 〒981-0135 宮城県宮城郡利府町菅谷台 4-26-12

電話 080-3198-3874(菅原淳一)

菅原淳一/Mail juni@river.ocn.ne.jp

アイリンブループロジェクト
airinblue project

